

政治・人権部門

貧困・開発部門

文化部門 A

文化部門 B

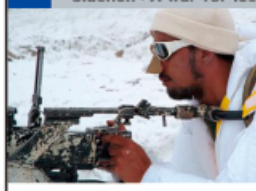
16 自由に死す Better to Have Been Killed



内戦下のネパールでは、報道の自由は政府により著しく制限された。その状況に闘いを挑んだジャーナリストを待っていたのは逮捕、そして拷問の数々であった。多くのジャーナリストの証言により、非常事態の中での報道の自由を巡る闘いを浮き彫りにする。

監督: ドルバ・バスネット / 2007 / ネパール / 52分

17 シアチェン - 氷河の戦闘 Siachen: A War for Ice



ヒマラヤ山中、標高6000メートルに位置するシアチェン氷河を巡ってインドとパキスタンが20年以上戦闘を繰り返している。国境線なのだ。両国は自らの正当性を繰り返すばかり。この「馬鹿げた」戦闘の解決の糸口はあるのだろうか？

監督: フルヴィオ・マリアーニ&マリオ・カゼッラ / 2006 / スイス / 52分

18 コーラと少年 Journey of a Red Fridge



17歳のハリは学費と生活費を稼ぐためポーター(荷物運び)として働いている。今回の荷は巨大なコーラの業務用冷蔵庫。それをヒマラヤの山奥から麓の街まで運ばねばならない。彼の生活苦、将来の夢が、6万人とも言われるネパールの「子供ポーター」たちのそれと重なる…

監督: ルシアン・マンティン&ナターシャ・スタンコヴィック / 2007 / セルビア / 52分

19 思いを運ぶ手紙 Yi khel gi kawa: The Price of a Letter



ブータン、標高4000メートルの山中にあるリンシ村。放牧など昔ながらの暮らしがある。テンジンはこの村の郵便配達員。26年間、10日以上かかる首都・ティンブーへの厳しい山中を毎月往復し手紙を届けて来た。都市と村の両方を見てきた彼の思いとは…

監督: ウゲン・ワン / 2004 / ブータン / 70分


20 我ら辺境に生きる Hani kunako maanche?: We Corner People



山あいの寒村ネパールのタマン村。村人は自らを「片すみの人々」と呼ぶ。電気も一件の店も無い貧困が支配する。そして、洪水で一人の若い花嫁が流され、人々の憂鬱は更に深まる…そんな村に橋が架かることになった。果たして、村人の貧困や不安は軽くなるのだろうか。作品提供: 山形国際ドキュメンタリー映画祭

監督: ケサン・チェテン / 2006 / ネパール / 50分

21 ヒマラヤにかける橋 Bridging the Heavens



チベット仏教の伝統と文化を色濃く残すヒマラヤ奥地のドルポ地方ツアルカ村。村人750人の悲願であった雨期にも流されない鉄の橋を一人の日本人が贈ることを決意。河口慧海の足跡を辿ってここに何度も通っている根深誠だ。3年の苦闘の末、彼は橋の本体を完成させる。

監督: 根深 誠 / 2005 / 日本 / 55分


22 レブチャ族の村 Tingvong: A Lepcha Village in Sikkim



カンチェンジュンガ峰の山麓に暮らすレブチャ族。その生活スタイルは、この60年間に伝統的な狩猟から定住型の専門農業へと大きく変化。しかし、仏教とシャーマニズムの伝統は今も生き続け、次の世代へと受け継がれている。「映像人類学」の記録。

監督: アンナ・バルックチュ・テンジョンバ&ダワ・T・レブチャ / 2005 / インド / 60分

23 尼僧の智慧 Daughters of Wisdom



チベットの僧院では幾世紀にも渡り、男性が修行と教育の中心的な役割を果たしている。しかし、ナチェン地方のカラロンゴ僧院では、前例の無いことに約300人の尼僧が修行と教育を受け、チベット文化を守る役割を担う。尼僧たちの知られざる日々を密着した心を浄化するドキュメンタリー。

監督: パリ・パルマン / 2007 / アメリカ / 70分

24 ミス チベット Miss Tibet



チベット亡命政府のあるインドのダラムサーラの難民コミュニティでは、毎年「美人コンテスト」が行われている。だが今回、候補者は一人だけ…「チベットの伝統にそぐわない」と、コンテストを快く思わない者もいる。果たして、コンテストは成功するのか？

監督: シェバウ・ルズール・ヴァン・リーウェン&テンジン・タルド / 2007 / インド / 30分

25 怒れる僧侶 Angry Monk



「チベット」…悟った良き人々のみが住む神秘的な天空の世界? そんな「固定観念」を覆し、真のチベット解放を目指す「怒れる僧侶」が50年代にいた。グンドゥン・チャーブル。彼はやがて「フリーチベット」のシンボルとなっていく。古のチベットの姿、そして、チベットの未来が見えてくる。

監督: リュック・シェドラー / 2005 / スイス / 60分

26 チベットの髙僧 Call it Karma



バンクーバーの街中で偶然出会ったカナダ人青年とチベット仏教の若き髙僧。過酷な修行、ヒマラヤ越え、西洋への布教—髙僧の半生に青年は深い感銘を受ける。やがて、二人は僧侶の故郷チベットへと向かう。スペクタクルな風景と共に描かれる真実の物語。

監督: ジェフ・ブラウン / 2004 / カナダ / 48分


27 我が故郷 - チベット Closer than Tibet



チベット人アーティスト、タシ・ノルブ。ブリュッセルを拠点に活動を展開。幼少より続く難民としてのトラウマ、中国のチベット支配、欧米でのチベット仏教の台頭などをタシは赤裸々に語る。チベットの伝統を基に新たな芸術表現を追究する彼の目指す世界、創造の源とは。

監督: ロン・シェール / 2006 / ベルギー / 56分

28 遊牧民と呼ばれて A Man Called Nomad



中国国内のチベット族。遊牧を生業とし伝統的な生活を守り続けて来た。しかし、近代化の波が彼らを取り巻く環境を急速に変化させる。伝統と近代化の狭間でどう折り合いをつけるのか? 遊牧民として生きていく意味とは? ある家族を通じてチベット族遊牧民の現状を描く。

監督: アレックス・ガッパイ / 2002 / ネパール / 40分

29 歌声はヒマラヤの彼方に Bhedako Oon Jasto...: In Search of a Song...



ヒマラヤ山中で聞いた民謡が忘れられないジャーナリスト。その歌を彼から聞いた友人のミュージシャンは新しいアルバムに収録することを切望する。一行はメロディに惹きつけられるようにネパールの奥地へと民謡のルーツを探しに旅立つ…。そこには数々の出会いが待っていた。

監督: キラン・クリシュナ・シュレスタ / 2004 / ネパール / 56分

30 ブータン - 幸福への中道を行く Bhutan - Taking the Middle Path to Happiness



ブータン王国。豊かな自然環境の中で人々の多くが今も伝統的生活を営む。政府は「国民最大幸福」という精神的な豊かさを目指す政策を打ち出し世界の関心を集めている。真の幸せを得るためには「中道」が大切だと言う。「中道」とは何か? ブータン人が持つ幸福観とは?

監督: トム・ヴェンデッティ / 2007 / アメリカ / 57分

ヒマラヤ国際映画祭 WEST JAPAN 2009 特別協賛企業

~おかげさまで40周年~ 出会いとふれあいの

マウンテントラベル

ヒマラヤ観光開発株式会社 Himalaya Kanko Kaihatsu Co., Ltd.

●東京本社 港区新橋3丁目26番3号会計ビル5階 Tel. 03-3574-9292
 ●大阪支店 北区梅田1-11-4-500 大阪駅前第4ビル5階3号 Tel. 06-6346-0360
 営業時間 / 平日 9:30~17:30 土曜 9:30~13:00 定休日: 日祝日

世界のトレッキング、登山、ハイキングはマウンテントラベルへ!
 フリーダイヤル 0120-777802

3880mの標高、サガルマータ国立公園にあるホテル・エベレスト・ビュー。エベレストを始めヒマラヤの山々がご覧頂けます。